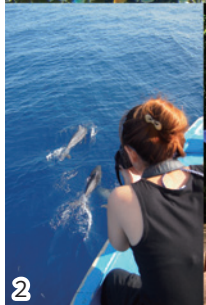


海のアマゾン「マナド」

[インドネシア - スラウェシ島]

直行便 3時間30分



1) マナド沖のブナケン海洋公園は透明度 30 m。ハードコーラルやソフトコーラルなど珊瑚の種類は 390 種類にのぼり、珊瑚を棲家とする生物は数えきれない。 2) リゾートのドルフィンクルーズは遭遇率 90% のこと。 3) シラデンリゾートのビーチビューコテージ。目の前にビーチ、サンセットを臨みます。 4) 世界最小のメガネザル「タルシウス」はシラデンから終日ツアーで行くタンココ国立公園内で見学できます。タバコの箱くらいの大きさでかわいいです。 5) リゾートスタッフがウミガメの卵を保護。



6) フワフワのソフトコーラルに陣取る「ホシゴンベ」英語では「Hawkfish」と呼ばれる。珊瑚じっと座わって、獲物を見つけたら飛びつくところからホーク=鷹となったそう。 7) ウミガメの卵が孵化したら海へ放流します。滞在中に孵化すれば一緒に放流体験できます。 8) タルシウスの棲む大きな洞をもった木。タルシウスは夜行性で日中は木の洞の奥で眠っています。夕方涼しくなってから下に降りてきて好物のバッタなどの昆虫を捕食します。 9) ブナケン海洋公園は天然の水族館。見たことのない魚もわんさかいるのでスノーケリングが楽しい。

コーラルトライアングル
地球の作り上げた財産

コーラルトライアングルとは東のソロモン諸島、北のフィリピン、西のバリ島を繋ぐ三角形の海域。2億年前この海域はテチス海と呼ばれ、浅い海に広大な珊瑚礁が広がっていました。赤道付近の熱帯雨林からミネラル豊富な栄養分が海に流れ、複雑な海流と海底地形が数多くの生物を育んできました。スラウェシ島のマナドはそんなコーラルトライアングルの中心に位置し、現在も豊かな生態系を維持しています。

マナドの拠点ブナケン海洋公園内にあるシラデンリゾートが人気。イタリア人オーナーが運営する静かなブティックリゾートはダイバーからお子様連れまで幅広い客層が利用しています。

リゾートへはボートで約30分途中運が良ければイルカ達が出迎えてくれることもあるそう。手作り感のあるバンガローは素朴ながらも居心地が良く、料理も地元素材が生かされおいしいと好評。シラデンでは自然保護と地元の人々との共生にも一役買っています。ウミガメの卵の保護もその一環。村人が見つけた卵を買い上げて孵化するまで保護するそうです。運が良ければ孵化したウミガメの放流に立ち会うことができるかも!?

リゾートから歩いてすぐの棧橋周辺はビッシリと珊瑚に埋め尽くされたスノーケルポイントがありハコフグやミノカサゴなどスノーケルではなかなかお目にかかるのが難しい魚も普通に見られます。